

VOL.18

図書館について調べよう！

2015.1 更新

○図書館とは…？

本や雑誌などさまざまな資料を、収集、分類、整理、保管して、利用者に提供する施設。
(ポプラ社『ポプラディア7』より)

○概要を調べる * 網掛けは児童コーナーの資料

- ・10『図書館が大好きになる めざせ！キッズ・ライブラリアン1 図書館のヒミツ』
すずき出版【2010】

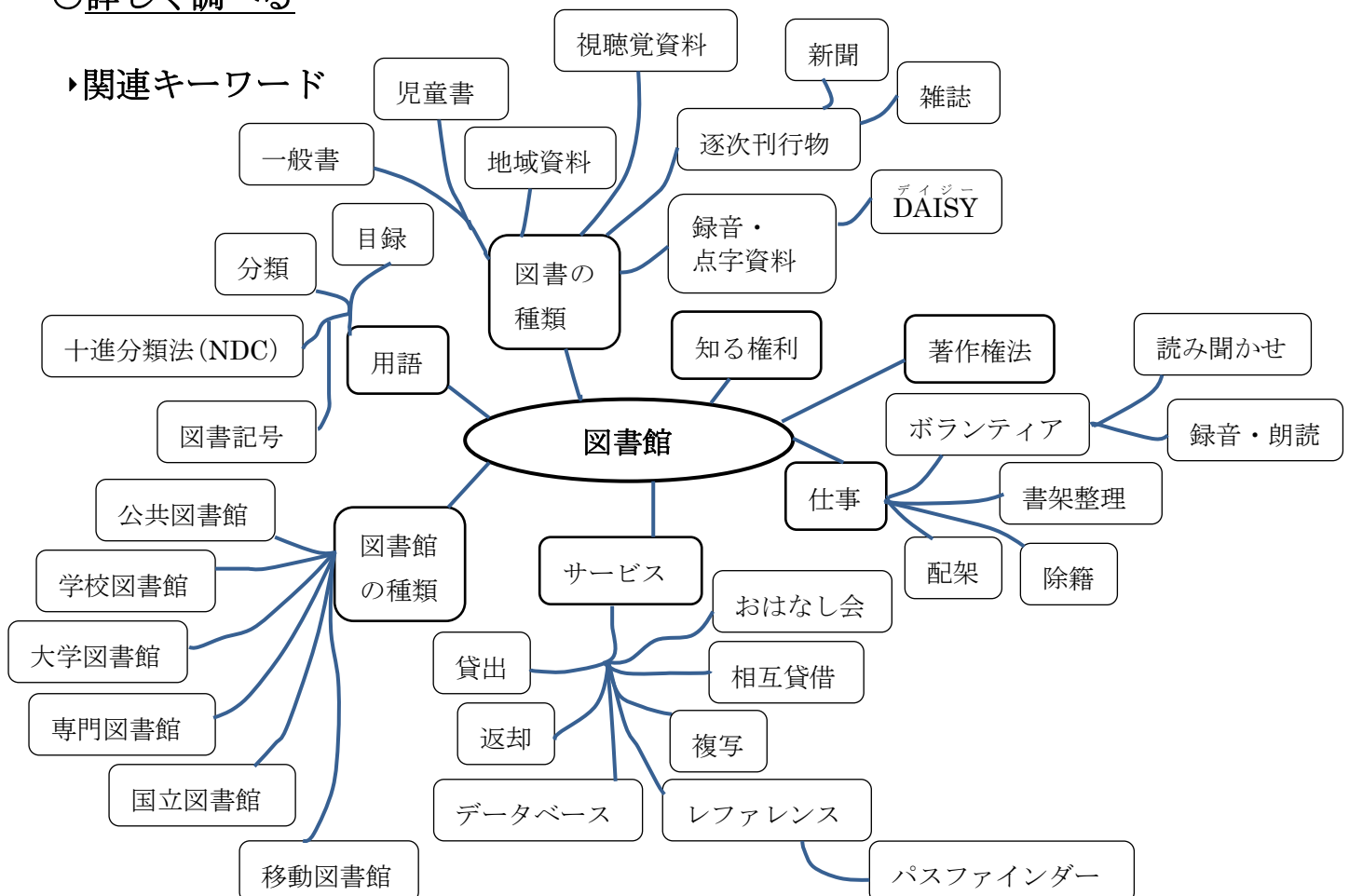
→図書館の社会的位置づけや簡潔に本の探し方を紹介している。普段、学校の図書室を使わない人や図書館に行ったことのない人に、まずこの本をお勧めしたい。

- ・10『辞書引き術』深谷圭助・菊池省三 監修/フレーベル館【2010】

→図書館についてというよりは調べ学習のやり方についてまとめられている。特に38頁からは図鑑・百科事典を用いての調べ方が記載されている。十進分類法についても記載がある。

○詳しく調べる

▶関連キーワード



▶日本十進分類法（一般書）で探す

【010 図書館】【010.2 図書館の歴史】【014.4 分類法】

▶児童・YAコーナーで探す

【10 本・読書・図書館】【Y200 総記】

▶例えばこんな資料

図書館のしくみについて調べる

- ・10『図書館のすべてがわかる本 1 図書館のはじまり・うつりかわり』

秋田喜代美 監修／岩崎書店【2012】

→古代文明に創設された公共図書館や図書館の移り変わりについて、わかりやすく説明されている。

- ・010『図書館のしごと』国際交流基金関西国際センター／読書工房【2013】

→図書館の種類と機能や図書館の使い方、運営の仕方など、図書館のすべてがこの一冊で理解することができ、分類についてくわしく書かれている。漢字にふりがなあり。

- ・010『図書館及び図書館史』小黒浩司／日本図書館協会【2000】

→古代の図書館の歴史について図書館ごとにまとめてあり、それぞれ比較しやすい。それぞれの文化の中で特に注意しておきたいワードは欄外に抜き出してある。巻頭には本の歴史についても説明されている。

調べ学習のやり方について調べる

- ・10『図書館のトリセツ』福本友美子・江口絵里／講談社【2013】

→図書館はどんなところか？調べ学習のコツは？これを読めば、誰でも図書館マスターになれます。本の探し方ももちろん、図書館の仕事についても少しのぞけそう！

- ・10『図書館の達人！本のさがし方がわかる事典』金中利和 監修／PHP研究所【2007】

→本を探すにはまず、十進分類をマスターすることです。この本では、十進分類についてとてもわかりやすく解説している。

- ・10『図書館が大好きになる めざせ！キッズ・ライブラリアン2 エンジョイ！図書館』

二村健 監修／すずき出版【2010】

→10頁から調べ学習をどのような手順で進めていくか説明してあり。

- ・Y200『なんでも「学べる学校図書館」をつくる ブックカタログ&データ集』

片岡則夫／少年写真新聞社【2013】

→約50の調べ学習のテーマでおすすめの本が見開き1頁にまとめられている、究極の1冊。

調べているテーマがなくても、こんなかんじでブレインストーミングしていくと解決策が見つかるかもしれない。

○図書以外の資料

◎インターネット情報

- ・国立国会図書館 キッズページ (<http://www.kodomo.go.jp/kids/index.html>) [確認日：2015.1.30]
→図書館とは？というそぼくな疑問や図書館用語についても解決してくれる、子ども用のページ。
- ・東京都立図書館 (<http://www.library.metro.tokyo.jp>) [確認日 2015.1.30]
→東京都立・都内の図書館の蔵書検索はこちらでできる。

○プラス・ワン！ *網掛けは児童コーナーの資料

著作権について調べる

- ・10『小中学生のための初めて学ぶ著作権』岡本薫／あさがく選書 [2011]
- ・Y200『中学生のための著作権教室』作花文雄／私的録音補償金管理協会 [2001]
- ・Y200『中学生にもわかる 著作権』豊沢豊雄／駒虎書房 [1998]
→著作権とは、誰かが作ったものを使うときには勝手に使ってはいけないというルールのこと。
書館の本をコピーする場合にはかならず、著作権が絡^{から}んでくる。
本だけではなく、身近なものにも著作権が関係していることがよくわかる。

図書館に関する小説・漫画

- ・『図書館戦争シリーズ』有川浩／角川書店 [2006～]
- ・『晴れた日は図書館へいこう』緑川聖司／ポプラ社 [2013～]
- ・『れんげ野原のまんなかで』森谷明子／東京創元社 [2005・2011]
- ・YM『図書館の主』篠原ウミハル／芳文社 [2011～]
- ・YM『夜明けの図書館』埜納タオ／双葉社 [2011～]